

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	姉妹都市自然体験交流事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市内の小学校5, 6年生児童30人	意図	姉妹都市である石川県能登町での豊かな体験を通して、子どもたちの情操を育み、能登町の児童との交流を図る。
事業内容	姉妹都市である石川県能登町での豊かな体験を通して、子どもたちの情操を育み、能登町の児童との交流を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度より姉妹都市自然体験交流事業が始まった。海と漁村で過ごす貴重な体験交流活動を3泊4日で実施している。参加費用が高額なため、年々参加児童が減少していったが、平成26年度より市が約半額の助成をしたところ、定員を超える応募があった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	参加人数	30	30	30	
②	参加率	100	100	100	%	→→	参加人数÷募集人数
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

事業を広く周知するため、「広報ながれやま」に募集要項を掲載し、各学校で能登町が作成したチラシを配布している。

この自然体験学習ツアーの成果のまとめとして、参加児童に感想文を提出してもらおう。

助成をすることで、より多くの児童が豊かな自然を体験し、能登町児童との交流を深めることができている。

市の広報で周知することで、姉妹都市との交流事業への理解を推進するとともに、児童が豊かな体験をする機会を作っていることを市民に伝えている。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,111,930	3,208,649	3,168,229
事業費(b)(円)	846,480	993,689	992,869
うち一般財源	846,480	993,689	992,869
職員給与費(c)(円)	2,265,450	2,214,960	2,175,360
人役・職員(人)	0.33	0.33	0.33
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	参加者を増やすために、市から約半額の助成を行う。安全に実施されるよう、委託先や実施内容について能登町と検討する。	③取組における課題(Check)	児童が楽しんで参加できるよう、安全面・活動面のさらなる充実を能登町に要望する。
②H30に実施した取組(Do)	市から約半額の助成を行ったことにより、定員を超える応募があった。事前に説明会を行い、安心安全に参加してもらえるよう理解を深めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	安全性等について説明会を引き続き実施し、児童が参加後の成果を記録し、周知に生かす。